

## 消化器内科

■診療科長 河上 洋

■研修実施担当者 安倍 弘生、中島 孝治

### 教育施設として認定を受けている学会

日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会

### 診療科の概要

消化器内科では消化管・胆膵の良悪疾患に対する診療を行っています。通常の上下部内視鏡検査はもとより、バルーン内視鏡、カプセル内視鏡を用いた小腸検査、胆膵領域における超音波内視鏡検査等（EUS、超音波内視鏡下穿刺吸引術（EUS-FNA））を行っております。内視鏡治療に関しては内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、食道癌に対する光線力学療法（PDT）等を消化管に対して行っております。ま

た胆膵領域においては、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）関連処置や、EUS-FNA 関連手技の超音波内視鏡ガイド下膿瘍ドレナージ術や瘻孔形成術などによる治療を行っています。その他には炎症性腸疾患に対する内科治療や消化器癌に対する化学療法も行っています。幅広い疾患に対する種々の検査、治療を経験できる可能性があります。

### 研修症例の特徴

1 か月間に約 10 人程度の入院症例を受け持ちます。症例は炎症性腸疾患、消化器癌に対する化学療法の導入、副作用の管理、胆膵疾患などその時々様々です。

良悪性を含めた多くの消化器疾患に触れることで検査や治療、紹介や入院の適応を学ぶこ

とができます。また検査・治療においては基本から大学ならではの手技まで幅広い検査・処置を実際に見ることができます。

### 研修目標

#### 【一般目標（G10）】

- 患者・家族との適切なコミュニケーションの技術を身につける。
- 系統的な病歴聴取、身体診察を行えるようにする。

#### 【個別行動目標（SBOs）】

- 消化器診療の基礎を学ぶ。
- 消化器診療において専門機関に相談すべき疾患、症例について学ぶ。
- 内視鏡検査の適応について学ぶ。
- 内視鏡治療の適応について学ぶ。

## 研修方略

### 【指導医および指導体制】

入院主治医と直接ペアになりながら、外来主治医、その他担当医から指導を受ける体制になります。また学んだことを実習中の学生に対して指導

するいわゆる屋根瓦方式により、理解を深めていく形になります。

### 【勉強会やカンファレンスなどの研修教育活動】

全体では木曜日に入院患者さんのカンファレンスを行います。その場で、受け持ち症例のプレゼンテーションを行います。また臓器別では消化管の生検結果、胆膵領域の内科外科合同カンファレンスなどがあります。その他、毎朝がん患者さんのケモカンファレンスを行います。

### 【週間スケジュール】

	午前	午後
月	ケモカンファ	
火	ケモカンファ 胆膵カンファ（朝） （内科・外科・病理）	
水	ケモカンファ	
木	ケモカンファ	消化管・胆膵カンファ
金	ケモカンファ	

朝夕の回診、病棟業務、内視鏡検査

## 研修評価

○オンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC）による研修実施内容の評価（観察記録）

## 指導医・先輩医師からのメッセージ

自分が医学部に入ったのは、些末な理由です。消化器を選んだのは、ただ臓器として一番興味があったから、ほかに選択肢を感じたこともありませんでした。内科を選んだこと、胆膵を選んだことは学生実習が原因です。消化器診療は頭で考えるばかりではなく、手技も多くあります。幅広い診療を行っているため、興味をもてる領域に巡り合える可能性もあります。消化器内科や外科を考えている方、または救急や総合内科を考えている方には、是非是非1度は見学・研修してもらいたい科です。（久保田）